

## 目標達成計画

## 【 目標達成計画 】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	年6回の定期的な開催と状況報告のみではなく事故報告などの改善点をきめ細かく資料等に添付し、汲み取られた意見や要望を、更なるサービスの向上に活かされるように期待します。	情報共有を密に行えるよう、有意義な会議運営ならびに、サービス向上を目指します。	年6回の定期的な会議の開催は勿論の事、詳細な報告書等の資料を添付し、今後のサービスの向上に繋げていく。	1年
2	11	日々の利用者の変化をカンファレンスし、利用者の要望や自立支援を安全に遂行するためにも、少なくとも各ユニット会議を月1目開催する事を期待します。	職員全員が利用者の情報を共有することで、質の高いケアを提供する。	申し送りに止まらず、施設長をはじめ、職員全体が利用者の状況把握をスムーズに遂行する為には、カンファレンスや各ユニット会議を5分～10分位の短い時間でも作り開催できるようにしていく。	1年
3	6	身体拘束虐待防止委員会の発足・定期的会議や研修を行ない理解を深め、日常的に利用者の行動抑制がなく尊厳を維持できる取り組みを期待します。	全職員が身体拘束について理解を深め、身体拘束のないケアの実践を徹底する。	職員で構成する身体拘束廃止委員会に諮りながら、1年に2回の研修をおこなう。	1年
4	49	天気の良い日には、庭の花畑や畑の作物の実り具合を見に行っているが、なかなか希望される外出支援には繋がっていない。	天候に応じて野外散策や外気に触れるなど気分転換を図る。外出希望者は家族にも協力を得て実施継続する。	外出支援については、職員の人員確保の問題もあるが、上手く職員のローテーションを工夫しつつ地域のボランティア、家族の協力を得ながら気分転換が図れるよう、又、生き活きとハリのある生活が送れるよう支援していく。	1年
5	35	災害時の避難経路が確保されていない。	あらゆる災害に対応できるようにシュミレーションを行う。	避難経路の障害になるものは、早急に撤去し備蓄を整備していき、より利用者の安全・安心に繋がるよう努めていく。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。